



TOYO INK SC

For a Vibrant World

株主のみなさまへ

第184期中間報告書

2021年1月1日 - 6月30日



株主のみなさまへ/長期構想 SIC27	1
業績ハイライト	3
事業別活動報告	4
グループピックアップ	8
CSR	9
コミュニケーション広場	10
連結財務諸表の要旨	11
会社情報	12
株式情報	13

株主のみなさまへ



株主のみなさまにおかれましては、平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

東洋インキグループは、第184期（2021年度）より「新しい成果を積み重ねる3年間」と位置づけて中期経営計画「SIC-II」をスタートさせました。新型コロナウイルス感染症の流行により、これまで当たり前だと思っていた日常が一変し、極めて速いスピードで経営環境が変化しています。東洋インキグループでは新常態に役立つ提案を構想し、社会から必要とされる製品・サービスを提供するため、新事業への挑戦に取り組んでいます。今後も人々の生活と文化を豊かにすることを目指して、その時代に応じた価値を社会に提供し続けてまいります。

当第2四半期連結累計期間（1～6月）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が抑制され依然として厳しい状況にあるものの、大規模な金融緩和や財政出動といった政策効果により持ち直しの動きもみられます。しかしながら、東洋インキグループの事業環境におきましては、複数の原材料メーカーでのプラント被災や物流の停滞により、原材料の供給不足や価格高騰の影響を受け、厳しい状況が続いております。

このような状況のなかで東洋インキグループは、これらに対応するとともに、年度方針である「事業の収益力強化」、「重点開発領域の創出と拡大」、「持続的成長に向けた経営資源の価値向上」の実現に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は増収となりました。うえ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益になりました。

東洋インキグループは、日本および世界各地の全社員の意思と力を結集し、「新たな時代に貢献する生活文化創造企業」を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも末永くご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年8月

代表取締役社長 高島 悟

私たち東洋インキグループは、
世界に広がる生活文化創造企業を目指します。

長期構想 SIC27

企業活動コンセプト

Scientific Innovation Chain 2027

科学的に実行する×革新的に発想する×それぞれの活動を連鎖させる

提供価値

For a Vibrant World

すべての生活者・生命・地球環境がいきいきと共存・共生する世界の実現

中期経営計画「SIC-II」

◎目指す姿

新たな時代に貢献する生活文化創造企業

◎重点開発領域の創出と拡大



◎事業の収益力強化

戦略的な高収益事業群の形成
低収益事業の再編・改革・撤退

◎持続的成長に向けた
経営資源の価値向上
(企業体質の変革)



2023年
計数目標

売上高
3,000億円
営業利益
220億円

2020年

売上高
2,577億円
営業利益
129億円

SIC-I

2018-2020

挑戦を繰り返す

SIC-II

2021-2023

新しい成果を積み重ねる

SIC-III

2024-2026

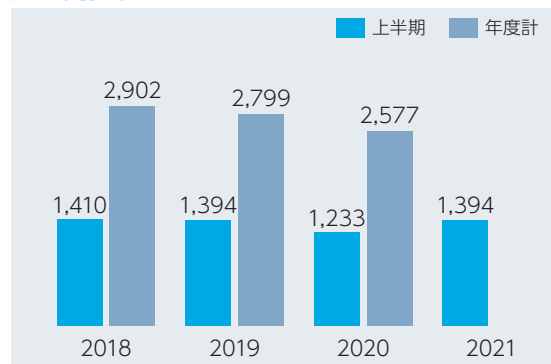
持続可能な企業体質
を創り上げる

業績ハイライト

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

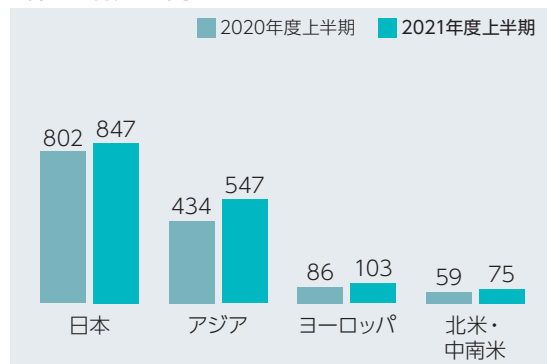
売上高推移

単位：億円



所在地別売上高

単位：億円



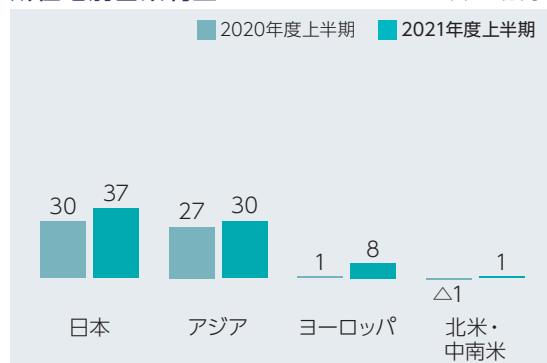
営業利益推移

単位：億円



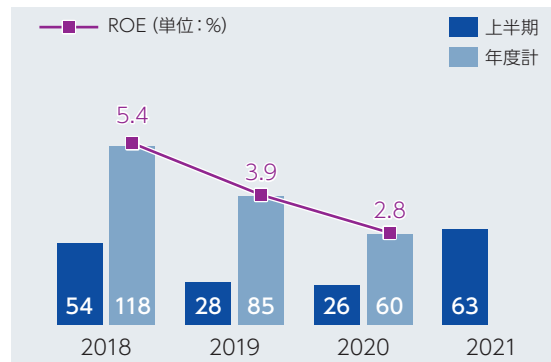
所在地別営業利益

単位：億円



親会社株主に帰属する当期純利益推移・ROE

単位：億円



色材・機能材関連事業

色材のリーディングカンパニーである当社グループにとって、有機顔料の合成技術は原点の一つ。ナノレベルの分散技術は、液晶ディスプレイ用材料やレジストインキ、カーボンナノチューブなどにも展開されています。

中核事業会社：トーヨーカラー株式会社

◇主な製品 有機顔料、加工顔料、プラスチック用着色剤、カラーフィルター用材料、インクジェット材料など



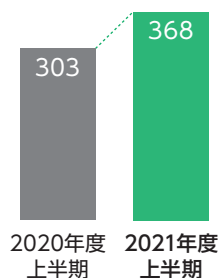
■ 当第2四半期までの概況

高機能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、外出自粛に伴いテレビやタブレット、パソコン用のディスプレイ向けに需要が好調でした。台湾や中国での拡販も進みました。

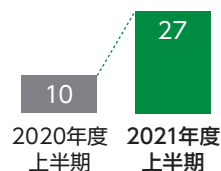
汎用顔料は、リキッドインキ用は堅調に推移しましたが、情報系印刷インキ用は低調が続いたことに加え、原材料価格高騰の影響も受けました。インクジェットインキは、中国や欧米など海外を中心にデジタル印刷需要が回復しました。

プラスチック用着色剤は、国内では外出自粛により食品容器向けが堅調で、海外でも自動車用や太陽電池用が好調に推移しましたが、原材料価格の上昇を受けて販売価格の改定も進めさせていただいております。また、欧州や東南アジアで不採算拠点からの撤退を進めました。

売上高推移
(単位：億円)

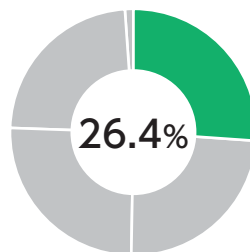


営業利益推移
(単位：億円)

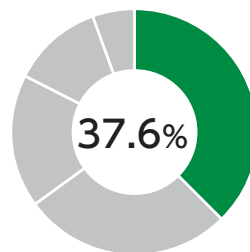


2021年度上半期

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

ポリマー・塗加工関連事業

樹脂（ポリマー）を素に、合成や塗加工の技術を生かし、自動車やエレクトロニクスの分野、太陽電池などのエネルギー分野、メディカル・ヘルスケア分野などで多くの機能性製品が採用されています。

中核事業会社：トヨーケム株式会社

◇主な製品 缶用塗料、樹脂、接着剤、粘着剤、塗工材料、天然材料、メディカル製品など



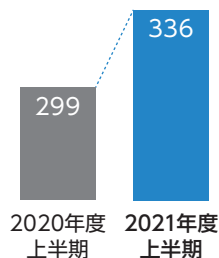
■ 当第2四半期までの概況

塗工材料は、スマートフォン向けに導電性接着シートや電磁波シールドフィルムが好調でした。え、液晶パネルや自動車向けの耐熱微粘着フィルムも好調に推移しました。

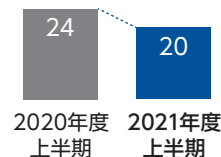
接着剤は、国内ではスナックやペットフード向けなど包装用が、また海外でも食品包装用が堅調に推移しました。粘着剤は、国内のラベル用の需要が堅調でした。え、国内外で偏光板用なども好調でした。一方で、世界的な原材料の調達難や急激な価格高騰を受け、販売価格の改定を進めさせていただいておりますものの、利益は大きく圧迫されました。

缶用塗料は、国内では巣ごもり需要で飲料缶用が堅調に推移し、海外でも中国やタイで需要が回復しましたものの、原材料価格高騰の影響を受けました。

売上高推移
(単位：億円)

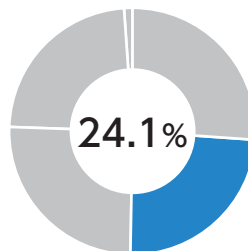


営業利益推移
(単位：億円)

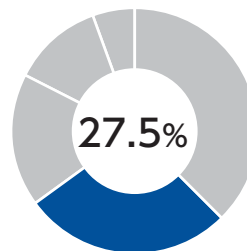


2021年度上半期

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

パッケージ関連事業

パッケージの製造工程に多様な高機能製品を提供。安心・安全が求められる食品包装の分野では、インキや接着剤の水性化、無溶剤化などを進め、また、サステナブルな社会をめざし、バイオマス製品の開発も行っています。

中核事業会社：東洋インキ株式会社

◇主な製品 グラビアインキ、フレキシソインキ、
グラビアシリンダー製版など

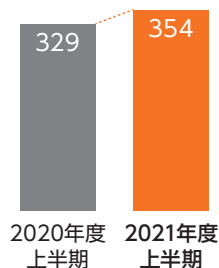


■ 当第2四半期までの概況

リキッドインキは、国内では、外出自粛に伴いお土産や衣料品の紙袋向けが低調でしたが、冷食や麺類等の家庭用食品向けは堅調に推移しましたうえ拡販も進み、建装材用でも需要が回復しました。海外では、中国で操業停止がありました前年同期から回復しましたうえ、インドや中東でも好調に推移しました。一方、世界的な原材料の調達難や価格高騰が継続しており、販売価格の改定を進めさせていただいておりますが、利益面で大きく影響を受けました。

グラビアのシリンダー製版事業は、エレクトロニクス関連の精密製版が堅調で、軟包装や紙器関連の包装用も回復してきました。

売上高推移
(単位：億円)

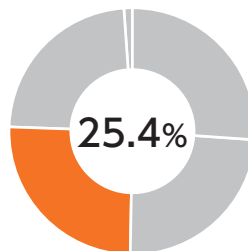


営業利益推移
(単位：億円)

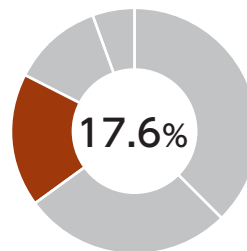


2021年度上半期

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

印刷・情報関連事業

当社グループの原点であり、重要な基盤事業の一つ。顔料や樹脂から最終製品までを一貫生産できる強みを生かし、環境調和型や高機能など多様な製品を開発。印刷工程での標準化サポートなどのソリューションも提供しています。

中核事業会社：東洋インキ株式会社

◇主な製品 オフセットインキ、金属インキ、印刷機械、印刷機器、プリプレスシステム、印刷材料など

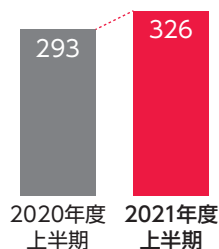


■ 当第2四半期までの概況

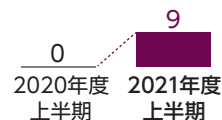
情報系印刷市場の構造的な縮小が、新型コロナウイルスの感染拡大と長期化、経済活動の制限でさらに進み、国内ではチラシや広告、出版向けが低調でしたが、同業他社との協業やコストダウン、原材料価格上昇に対する販売価格への一部転嫁など、事業体質の改善を進めました。

海外では、前年同期に操業停止がありました中国で需要が回復しましたほか、食品や医療品などの紙器向けが堅調に推移しました。また需要に合わせて、グローバルでの供給体制最適化や、各拠点の事業体制再構築にも取り組みました。

売上高推移
(単位：億円)

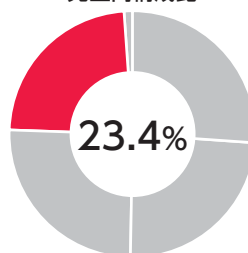


営業利益推移
(単位：億円)

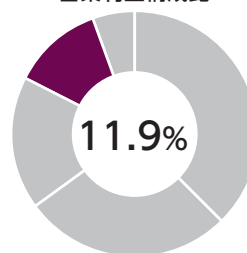


2021年度上半期

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

生ジョッキ缶用「ビール泡立ち缶用塗料」の開発、提供

トーヨーケム株式会社（以下、トーヨーケム）は、アサヒビール株式会社との共同開発により、どこでもお店のビールが飲める「生ジョッキ缶」を2021年4月20日、全国発売しました。

実現のカギとなった技術は、日本大手飲料メーカーのアサヒビール社と「ビールに求められる価値」について議論を重ね、共に開発した日本初「ビール泡立ち缶用塗料」です。東洋インキグループが新たに開発したこの塗料を缶の内面に塗装すると、缶ビールの蓋を開けただけできめ細やかな泡が立ち、お店で飲むような美味しい生ビールの感動を味わうことができます。

きめ細やかな泡立ちで「どこでもお店のビールが飲める」

製缶用内面塗料は、内容物から缶を守る役割と缶の金属成分が内容物へ溶出し内容物の風味が変化することを防ぐ「樹脂層」を形成する役割を果たしています。この缶内面樹脂層の表面に特定の凹凸を形成させることで、ビールの泡立ち性を最適化するサンプル提案を重ね開発を進めました。「真のニーズ」を得る活動によって、これまで求められてきた基本品質の上を行く、新たな価値の提案を実現しました。「どこでもお店のビールが飲める」。これは、新しい時代の生活の価値創造だと考えます。

また、飲料缶の主要素材であるアルミは、リサイクルすることで半永久的に使用されるサステナブルな特性があり、飲料系包装材として改めて注目が高まっています。アルミ素材はアルミ精錬・循環回収・再生産時のグリーンエネルギー活用といった新たな製法が世界中で研究されており、飲料包材としてのアルミ缶市場は今後も世界で拡大することが想定されます。トーヨーケムは、製缶塗料の機能と価値創造により、世界中の生活者の生活を豊かにする新製品開発を進めてまいります。



トヨーカラー、ミリ波電波吸収コンパウンドを共同開発 ～ミリ波レーダーの精度向上で自動車の安全運転を支援～

トヨーカラー株式会社は、
自動車の衝突防止システムなどで
使用されるミリ波電波を吸収する
射出成型可能なコンパウンドを
共同開発しました。

東洋インキグループ
オリジナルキャラクター
リオちゃん



トヨーカラー株式会社(以下、トヨーカラー)は、株式会社タケチ(大阪府吹田市)、株式会社新日本電波吸収体(東京都台東区)と共同で、ミリ波電波吸収性能を持つ射出成型可能なコンパウンドを開発しました。この製品は加工性・成型性に優れ、電波の乱反射による誤作動を防止することで、自動車の安全運転支援に欠かすことのできないミリ波レーダーの精度向上に寄与します。お客さまのご要望に応じて樹脂種や成型品の厚み、電波特性(反射減衰、透過減衰)のカスタマイズが可能です。

トヨーカラーは、要素技術である合成技術・分散技術を活かし、「機能材で社会課題の解決」を提案し続けることで、お客さまの製品訴求力向上に寄与し、また新しい生活文化の創造に向けて貢献してまいります。

3社の役割

コンパウンドの設計・製造

TOYO COLOR

カーボン系材料の分散技術に強みを持ち、独自の配合技術によりコンパウンドの設計と製造を行います。

電波吸収体の成型

株式会社タケチ

ゴムシートの電磁波吸収体を展開し、電波吸収体の量産時の成型加工と品質保証を行います。

レーダー関連
部品メーカー



電波吸収体の設計

株式会社新日本電波吸収体

電波吸収体の専門家として、電波吸収体の設計やスペック提案を行います。

ミリ波は波長が1-10mm、30-300GHzの周波数の電波のことです。前方走行車の検知や距離の計測、周辺障害物を検知するレーダーに使用され、自動車の衝突防止や速度の自動調節といった安全運転の支援に用いられています。自動運転普及社会においては、ミリ波レーダーは安全性確保のためのキーテクノロジーといえます。従来は金属とゴムを用いた電波吸収シートにより電波の干渉を防いでいましたが、加工性に課題がありました。

Q 株主優待制度を充実してほしい。

当社では、株主のみなさまと双方向コミュニケーションを目指し、年に1回アンケートを実施しています。ここでは、特に多くの方からいただいたご質問・ご要望にお答えいたします。

A 2021年度より株主優待制度を拡充いたします。

当社は、株主のみなさまの日頃からのご支援に感謝し、本年も株主優待を実施いたします。2019年の株主優待制度導入以来、株主のみなさまから頂戴したご意見・ご要望も踏まえ、今般、より多くの株主さまに一定の株数以上の株式を中長期に渡り保有していただけるよう優待制度の拡充を行うことといたします。

株主優待制度の
拡充を行います



株主優待のご案内

2021年6月30日現在の保有株式数と継続保有期間に応じた優待品を当社オリジナルカタログから1点お選びいただき、贈呈いたします。

1年以上かつ200株以上
継続保有の株主さま ※1

1,000円相当の商品1点または寄付

3年以上かつ500株以上
継続保有の株主さま ※2

2,000円相当の商品1点または寄付

「継続保有」とは右記期間中の6月30日および12月31日付け当社株主名簿に、同一株主番号にて200株もしくは500株以上の保有が記載または記録されていることといたします。

※1 2020年6月30日～2021年6月30日

※2 2018年6月30日～2021年6月30日

連結財務諸表の要旨

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

科目	2020年12月31日現在	2021年6月30日現在
流動資産	2,141	2,143
固定資産	1,661	1,781
資産合計	3,802	3,923
流動負債	914	971
固定負債	715	726
負債合計	1,629	1,698
資本金	317	317
資本剰余金	325	325
利益剰余金	1,474	1,511
自己株式	△49	△98
その他の包括利益累計額	30	88
新株予約権	2	2
非支配株主持分	74	80
純資産合計	2,173	2,225
負債純資産合計	3,802	3,923

連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

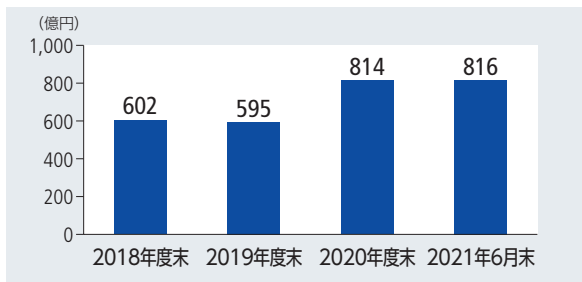
科目	2020年度上半期	2021年度上半期
売上高	1,233	1,394
売上原価	959	1,094
販売費・一般管理費	218	227
営業利益	55	72
営業外収益	11	20
営業外費用	17	6
経常利益	49	87
特別利益	0	2
特別損失	5	4
税金等調整前四半期純利益	45	85
法人税・住民税及び事業税	25	29
法人税等調整額	△9	△8
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	26	63

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

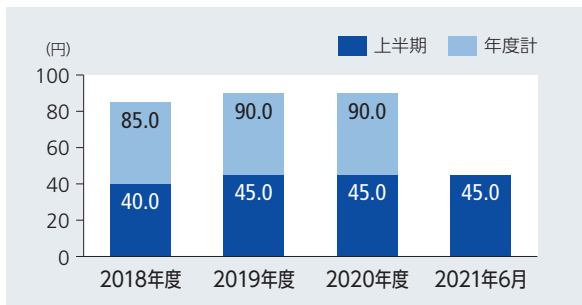
(単位：億円)

科目	2020年度上半期	2021年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	46	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	128	△85
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	12
現金及び現金同等物の増減額	113	△100
現金及び現金同等物の期首残高	538	731
現金及び現金同等物の四半期末残高	650	631

◎有利子負債の状況



◎1株当たり配当金



●中間配当金：1株につき45円

●中間配当の効力発生日(支払開始日)：2021年9月1日

※1株当たり配当金は、2018年7月1日をもって実施しました株式会社併合の併合割合を勘案して、記載しております。

会社概要

創業	1896 (明治29) 年1月
設立	1907 (明治40) 年1月15日
資本金	31,733,496,860円
発行済株式総数	60,621,744株
社員数	(連結) 7,951名 (単独) 383名

役員 (取締役・監査役)

代表取締役会長	北川 克己
代表取締役社長	高島 悟
専務取締役	青山 裕也
常務取締役	濱田 弘之
常務取締役	中野 和人
取締役	甘利 公人
取締役	木村 恵子
取締役	金子 眞吾
取締役	小野寺千世
取締役	横井 裕
常勤監査役	野邊 俊彦
常勤監査役	垣谷 英孝
常勤監査役	平川 利昭
監査役	池上 重輔
監査役	松本 実

グループ主要営業品目

有機顔料、加工顔料、プラスチック用着色剤、カラーフィルター用材料、缶用塗料、樹脂、接着剤、粘着剤、塗工材料、天然材料、メディカル製品、グラビアインキ、フレキシソインキ、グラビアシリンダー製版、オフセットインキ、金属インキ、印刷機械、印刷機器、プリプレスシステム、印刷材料、インクジェット材料

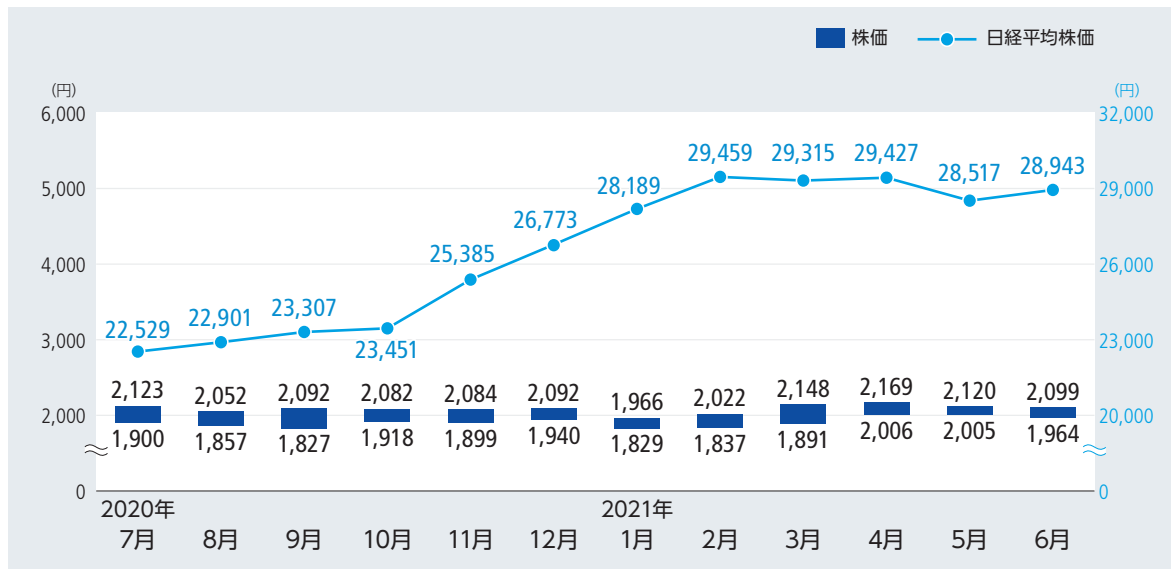
事業拠点

※太字 製造拠点含む

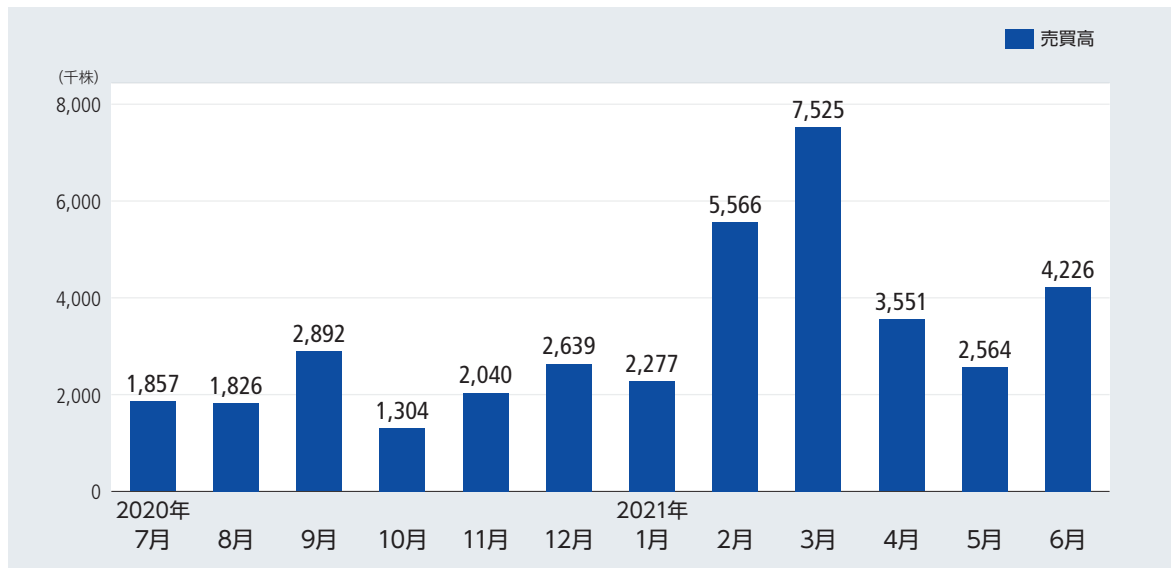
国内拠点所在地	札幌 千歳 仙台 東京(京橋、十条) 千葉 茂原 川口 坂戸 川越 東松山 富山 長野 新潟 名古屋 静岡 富士 春日井 守山 大阪 寝屋川 京都 西神 尼崎 岡山 広島 高松 福岡 北九州 熊本
海外拠点所在地	アメリカ合衆国 ブラジル メキシコ フランス ベルギー イギリス ドイツ ハンガリー リトアニア トルコ 中華人民共和国 台湾 大韓民国 シンガポール タイ マレーシア ミャンマー フィリピン インドネシア ベトナム インド アラブ首長国連邦 モロッコ

株式情報

◎株価の推移 (東京証券取引所)



◎売買高の推移 (東京証券取引所)



◆大株主

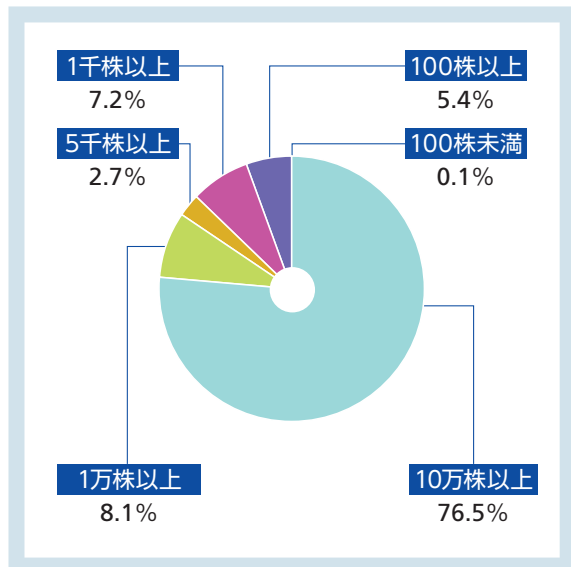
2021年6月30日現在

順位	会社名	持株数(千株)	持株比率
1	凸版印刷株式会社	11,016	19.73%
2	サカティンクス株式会社	2,335	4.18%
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,323	4.16%
4	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,022	3.62%
5	SMBC日興証券株式会社	2,014	3.61%
6	株式会社日本触媒	1,661	2.97%
7	東洋インキグループ社員持株会	1,481	2.65%
8	東洋インキ取引先持株会	947	1.70%
9	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	859	1.54%
10	株式会社三菱UFJ銀行	753	1.35%

※自己株式4,779千株を除く。

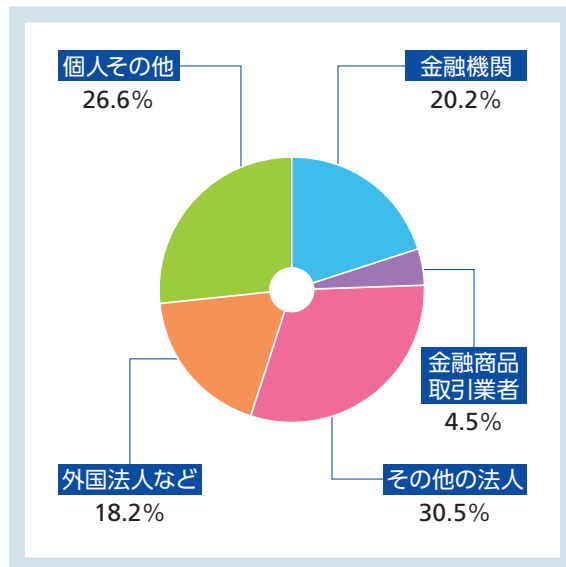
◆所有数別株式数比率

2021年6月30日現在



◆所有者別株式数比率

2021年6月30日現在



株式のご案内

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 ●定時株主総会・期末配当：毎年12月31日
●中間配当：毎年6月30日

株主名簿管理人

および

特別口座の

口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

◎住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

◎未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主優待制度

2021年度より株主優待制度を拡充いたします。

毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式を継続保有する株主さまを対象に、保有株式数と継続保有期間に応じた優待品を、当社オリジナルカタログから1点お選びいただき、贈呈いたします。毎年9月下旬頃に当社オリジナルカタログを発送し、お選びいただいた株主さまから順次、発送させていただきます。

東洋インキ SC ホールディングス株式会社

〒104-8377 東京都中央区京橋二丁目2番1号

この冊子に関するお問い合わせ先 グループ総務部 TEL.03(3272)5731
インターネットによるお問い合わせ先 <https://schd.toyoinkgroup.com>
E-mail info@toyoinkgroup.com



この報告書は、当社グループのTOYO KING® NEX NVシリーズを使用して印刷しています。
このインキは、バイオマス度40%以上で、石油系の揮発性有機化合物(VOC)を含まない環境にやさしいインキです。